結核の接触者健診の流れについて
～施設等担当の方へ～



このパンフレットは、保健所が実施する結核接触者健診について、施設等の窓口担当者の方が健診までの流れを御理解いただけるようにまとめたものです。

福山市保健所　保健予防課

2026年（令和８年）10月作成

接触者健診の流れ



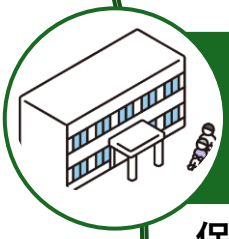
①患者発生

症状（咳・痰、発熱等）がある方は、医療機関を受診。



②保健所から施設等への連絡

感染させる可能性のある期間を決定後、施設等へ調査依頼。



③施設調査・リストの作成

保健所が施設等の環境、勤務状況、生活状況を聴き取り。
のちに対象者リストの提出を依頼。



④接触者健診の調整

保健所がリストの内容を検討し、健診対象者を決定。
後日、健診対象者、健診方法、時期を施設へ連絡。
必要時、保健所から健診対象者へ連絡。



⑤接触者健診の実施

保健所から適切な時期をご案内。委託医療機関等で実施。
多くは最終接触から2～3か月後に実施。

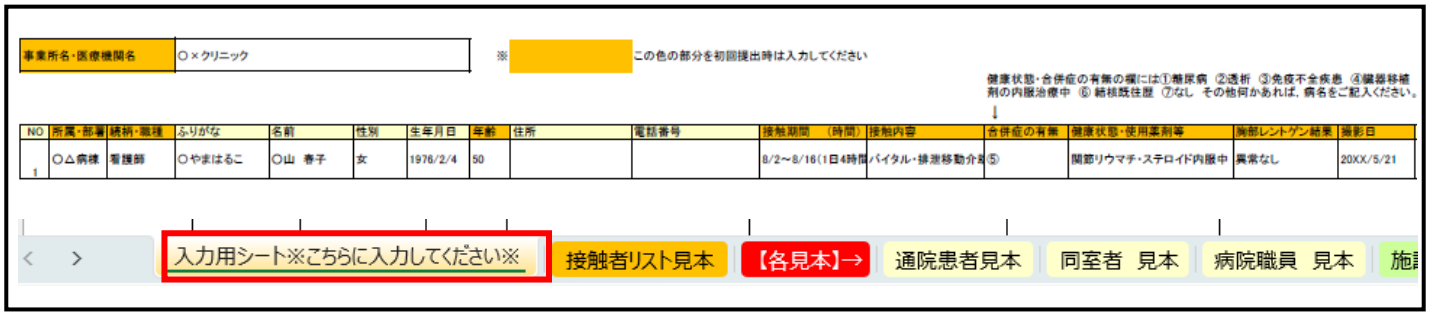


⑥結果説明

健診日から1～2週間後、原則保健所から健診対象者へ結果説明。

■接触者リストについて

接触者リスト（例：入力用シート）



記入上の注意点

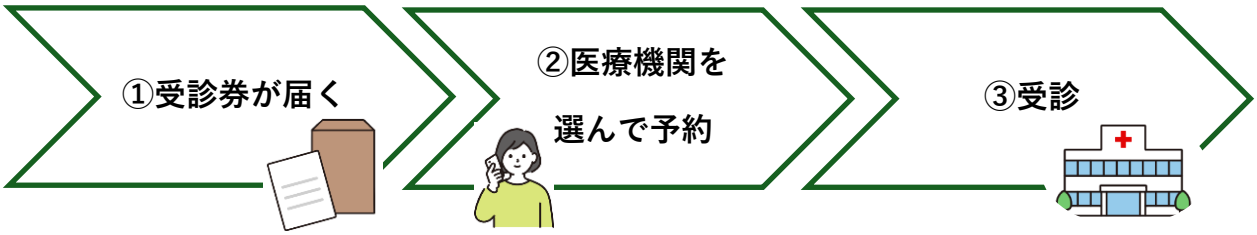
所属・部署・続柄・職種・名前・住所・電話番号・性別・生年月日	健診対象者となった場合にご記入ください。 なお、誤りがないよう対象者にご確認ください。
★年齢	健診対象者及び内容を決定するために必要な項目です。
★接触時間	「保健所から指定された期間」に接触した日数や時間をご記入ください。 （例）8/4～8/13（1日2時間×10日間）
★接触内容	接触場所や状況を具体的にご記入ください。 （例）デイルームにて同テーブルで食事、2m以内の近い席、車の同乗など
★健康状態・合併症	該当する番号①～⑥をご記入ください。 ⑤について、薬剤名や1日あたりの量が分かればご記入ください。
★胸部レントゲン撮影日・結果	直近の胸部レントゲン検査について、ご記入ください。
IGRA検査・ツベルクリン・BCG歴	分かる範囲でご記入ください。

★は必ず初回提出時に必要な情報です。
施設調査時、施設等の見取り図の準備を可能な限りお願いしております。

※施設調査後、1～2週間での提出をお願いしております。
ご協力よろしくお願いします。



■接触者健診（IGRA検査）の場合



IGRA検査（T-SPOT・QFT）

【健診費用：無料】

【陽性】



【陰性】

結核菌に「感染」している疑いがあります。
いつ感染したか、発症しているかについては分かりません。

結核菌に感染している可能性は低いと考えられます。今回で保健所の健診は終了です。年1回は健康診断を受け、2週間以上続く咳症状等があるときは早めに医療機関を受診してください。



胸部レントゲン検査

【所見あり】

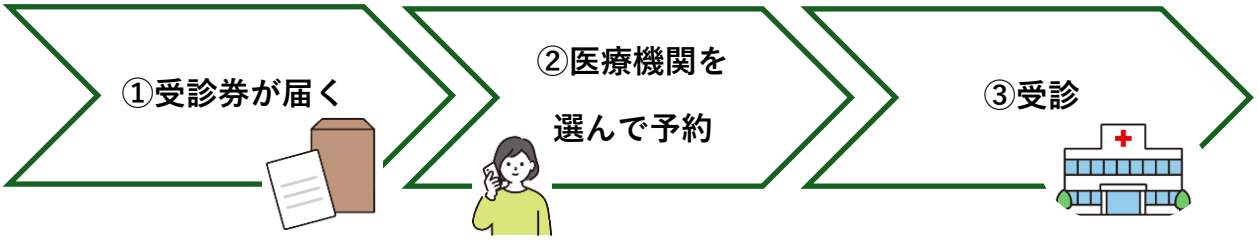
喀痰検査等さらに詳しい検査にすすみます。

【異常なし】

潜在性結核感染症として予防内服をする又は6か月毎2年間胸部レントゲン検査で経過観察。

■接触者健診（胸部レントゲン検査）の場合

※主に結核既往歴のある方が発病の有無をみるために、胸部レントゲン検査となります。



胸部レントゲン検査

【健診費用：無料】

※胸部CT等精密検査が必要になる場合は自己負担となります。



【所見あり】

医師の指示に従い、さらに喀痰検査等、詳しく検査をしていきます。
結核と診断されれば、治療が必要となります。

【異常なし】

以後、6か月毎2年間、胸部レントゲン検査で経過観察となります。健診の時期が来ましたら、保健所から案内します。
咳や熱等症状が長引く場合は、早めに医療機関を受診しましょう。